

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【373】
2. 日時：令和5年1月25日 10時45分～12時00分  
13時30分～17時25分
3. 場所：原子力規制庁 8階北会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、  
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他2名

電源事業本部 原子力耐震グループ 副長 他20名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（横置円筒形容器の耐震評価方法について、溢水源としないB, Cクラス機器の耐震性についての計算書、地下水位低下設備の耐震計算の方針書等）について、令和5年1月19日及び20日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【横置円筒形容器の耐震評価方法について資料】

○ 横置円筒形容器の胴の脚付け根部の当板（以下「当板」という。）を拡張することに伴いJ E A G式（手計算）を適用することについて、設置変更許可及び既工認での説明内容を確認した上で評価手法適用の考え方も含めて説明すること。また、既工認から本申請に至るまでの評価手法の変更の経緯について、整理して説明すること。

○ 横置円筒形容器の評価方法の適用方針について、既設／新設の分類や、構造（脚数、当板の拡張を含めた耐震補強の有無等）、当板の拡張による耐震評価への影響等を踏まえて説明すること。

【揚水ポンプの耐震性についての計算書】

○ 固有周期の求め方について、振動試験の詳細内容及び水中ポンプの固

有周期の算出方法(水の付加質量の考慮等)を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」(令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2)を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

なし